

～めざす生徒像～
自ら考え、共に手をとり、ふるさとの未来をつくる太田の子

- ◆ 自分の考えをもち、自ら進んで学び、創意工夫する生徒 (知)
- 生命を尊重し、互いの存在を思いやり、協力して活動する生徒 (徳)
- ◆ 自己の心身の健康を保持増進し、体力の向上に努める生徒 (体)

～太田中学校ホームページへ～
 日常の教育活動の様子をはじめ、学校情報が掲載されております。右のQRコードやインターネットで、「太田中学校ホームページ」などと検索してアクセスしてみてください。



あっけし うるわし (厚岸 麗し)

校長 山口 直樹

はじめに、7日に実施した小中合同運動会については、天候に恵まれ子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、最高のパフォーマンスを見せてくれました。また、地域の皆様も、太公望や玉入れなどにも多くの方にご参加いただき盛り上げていただきました。本部テントで参加者への景品をお渡しする際に表情を見ていたのですが、楽しそうに選ぶ姿も大変印象的でした。紅白の点数も拮抗し、見ていてドキドキしながらも楽しい時を過ごしました。閉会式で述べた言葉は私の地域に対する思いがすべて込められています。学校と家庭、地域の連携が最も現れた取組が運動会であり、日頃から学校教育に対するご理解、ご支援には只ならぬ感謝の気持ちがあります。普段は、文面でしかお届けできない気持ちを肉声でお届けできた貴重な場面なのでした。運動会の他にも中体連、宿泊研修、ピアサポートなど慌ただしくも大変充実した活動が展開できました。

さて、今月の表題ですが、この文字づらから山口校長は何から引用したか思いついた方もいらっしゃるでしょう。

『**倭は国のまほろば たたなづく青垣山籠れる 倭しうるわし**』

というヤマトタケルノミコトが詠んだ古事記にある短歌です。歌の意味は、大和は国の中でも最もよいところだ。重なり合った青い垣根の山、その中にこもっている大和は美しい、といったところでしょうか。「倭」は「大和」つまり当時の日本を意味し、「まほろば」とは美しい土地であることを意味します。大和言葉の中でこの言葉が私は一番好きと言ってもよいでしょうか。「倭し うるわし」は日本って美しいなあと思ってしまうでしょう。この句はヤマトタケルノミコトの辞世の句とされています。今ここで命尽きるところで、日本の美しさを詠ったところに熱い思いが伝わります。私は、この最後のフレーズの「やまとし」を「あっけし (厚岸)」に変えました。そうです。語尾が“し”で終わっていて、韻を踏んでおり響きも良いなあって思っています。私も、厚岸に住むようになって2年3か月が過ぎようとしています。つくづく厚岸は美しいなあと思っているのです。皆さん、美しいという言葉は大変多義的です。視覚的・聴覚的にきれいで心をうつという意味にとどまらず、精神的に価値があって人の心をうつ、心に深い感動をよびおこす、清らかだということも含みます。厚岸町は、その景観の麗しさはもとより、近世から近代という厚岸が形成される歴史を紐解いても当時の人々の生き方や発展の経過など随所に麗しさを感じます。これだけ環境問題が叫ばれるはるか100年以上前に、昆布からヨードを開発してきたことや厚岸再興の起爆剤として託した太田の屯田兵開拓など、挙げればきりがなく、そういう先達の努力を率直に美しい！と感じています。本校のふるさと学習も現在の形になって3年目を迎えます。修学旅行で道庁での取材をはじめ学びが深まり、集大成にふさわしい段階に来たと思っています。これまでの3年生の姿を目の当たりにしてきた2年生、さらにそれを追いかける1年生の取組も目が離せません。生徒たちそして指導する先生方には、探究的な学びを通して厚岸の麗しさに少しでも気づきを持ってほしいと願っています。そのためには、同じような人口規模の自治体との比較や、規模も特色も全く異なる他地域との比較など厚岸を日本や世界から俯瞰するマクロの視点と厚岸の細部に踏み込むミクロの視点から考察して気づくことがあるでしょう。

7月 行事予定表

日	曜	学校行事	下校バス時刻		片無去 (部活バス)
			太田	片無去	
1	火	総合校外学習(1年生)	15:30		
2	水	ALT 厚岸音頭練習 中体連報告会	15:30		
3	木	参観日	14:20		
4	金	心と身体のチェック 港まつりパレード	16:10(15:30)		〇はパレード中止の時
5	土				
6	日				
7	月		15:30		16:30
8	火	思春期講座 校内研修	15:30		
9	水	ALT 小学校一日登校 Do!はぐ	15:30		
10	木	委員会	15:30		
11	金		15:30		
12	土				
13	日				
14	月		15:30		16:30
15	火		15:30		
16	水	ALT 委員会	15:30		
17	木	スクールカウンセラー来校	15:20		
18	金		15:30		
19	土				
20	日				
21	月				
22	火	校内研修	15:30		
23	水	ALT	15:30		
24	木	委員会	15:30		
25	金	1学期終業式 大掃除	15:30		
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水				
31	木				

太田小中合同運動会～明笑協勝～

6月7日（土）朝から晴天に恵まれ、天気も気温も最高のコンディションの中で太田小中学校合同運動会を実施しました。

今回のスローガンは「明笑協勝」（めいしょうきょうしょう）。文字通り「明るく笑って協力して勝つ」という意味が込められています。中学生が参加した種目は「100m徒競走」「フラフープリレー」、「サイコロリレー」、小中合同の「紅白玉入れ」「紅白リレー」でした。児童生徒たちは、どの種目にも一生懸命取り組み、仲間が走る姿に熱のこもった声援を送る姿が見られるなどスローガンが達成できた素晴らしい運動会となりました。



100m走男子



100m走女子



フラフープリレー



さいころリレー

ピアサポート授業～友達との接し方～

6月13日（金）ピアサポート授業を1・2年生で実施しました。まずは「ひたすらジャンケン」次々にジャンケンし、勝ったら数を数える。1分後、何回勝ったかでチャンピオンを称え、次は負けた数を数え、何回負けたかでチャンピオンを称えました。2つ目の活動は「友達とけんかしたら」。もし、友達とけんかしてしまったら、どうなるかグループで交流して、けんかしたときの対処法を考えてみました。最後は「アンガーマネジメント」。普段、イライラすることはどんな時かグループで交流し、怒りの温度計に記入しました。自分と他人では怒りの温度差があり、価値観の違いがあることを理解する活動を行いました。普段の生活で、友達とどう付き合っていくべきか必要なことを学ぶ良い機会となりました。



先生の説明を真剣に聞いています



みんなでジャンケン



話し合いの様子

移動理科教室～最先端の実験～



6月12日（木）太田小学校にて北海道立教育研究所が主催する「移動理科教室」が実施されました。最初は「-196℃の世界を体験しよう」。液体窒素で身近にあるものを冷やし、物質の変化について観察しました。次に手回し発電機を使って、発電とエネルギー効率について学びました。普段、学校ではできない最新の機器を使った実験に生徒たちは高い関心を持って取り組んでいました。

厚岸町少年の主張～大切な厚岸の土地～



5月31日（土）厚岸町少年の主張大会で本校からさん代表1名が発表し佳良賞を受賞しました。タイトルは「大切な厚岸の土地」です。最近、北海道の広大な土地を海外の人が購入しているニュースを耳にします。私たちの先祖が守ってきた土地を、自分たちで守っていくべきだといった主張を含んだ内容です。発表内容は中学校の職員室前廊下に掲示しています。ご来校の際にはぜひご一読ください。

7月のお知らせ

- 第1回学校評価アンケートの実施について
学校運営の今後の改善のため、保護者の皆様へアンケートのご協力をお願いします。スマートフォン等でQRコードまたはURLを読み取って回答をお願いします。
【期間】7月14日（月）～23日（水）
- 第2回参観日のご案内
【日時】7月3日（水）・授業参観（道徳） 13:20～14:10
1年生：福原先生 2年生：市川先生 3年生：鈴木先生
・学級懇談 14:30～15:00
- 厚岸港まつりパレード
【日時】7月4日（金）15:00～15:45
本校生徒も市中パレードに参加します。場所は厚岸役場から厚岸駅までの間の道路になります。